



## 第4回会 第定例

# 条例や補正予算など54件を 可決・承認等

平成29年第4回定例会は、12月7日から22日までの16日間の日程で開催されました。今定例会では、条例や補正予算など市長提出議案52件、委員会提出議案2件、計54件の議案が提出されました。審議の結果、提出議案等はすべて原案のとおり可決・承認等されました。

## 第4回定例会に提出された 議案と審議結果

### 予 算

(原案可決)

平成29年度

- 石巻市一般会計補正予算(第5号)
- 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)
- 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第3号)
- 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 石巻市一般会計補正予算(第6号)
- 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)
- 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第4号)
- 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 石巻市病院事業会計補正予算(第1号)

### 条 例

(原案可決)

- 石巻市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進

### そ の 他

(承認)

- 委員の定数を定める条例
- 石巻市防災センター条例
- 石巻市観光物産情報センター条例を廃止する条例
- 石巻市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市営住宅条例の一部を改正する条例
- 石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

(原案可決)

- 指定管理者の指定について
- (石巻市相川地区コミュニティセンター)
- (石巻市子どもセンター)
- (石巻市北上観光物産交流センター)
- (石巻市指定文化財旧観慶丸商店)
- (石巻市復興まちづくり情報交流館中央館)
- 財産の無償譲渡について
- 財産の取得について
- (石巻市営二子復興住宅(その3))
- 財産の取得の一部変更について

## 委 員 会

(原案可決)

- 地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書
- 市長の専決処分事項の指定についての一部改正

## 人 事

(異議がない)

- 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ↓
- 佐々木多佳子氏を推薦することに異議がない

(仮称)石巻市宮鮎川黒崎復興住宅)  
工事請負の契約締結について

(仮称)後川さげ人工ふ化場整備工事)

(石巻駅周辺地区津波防災拠点歩行者ラック新設及び道路改良工事)

(石巻南浜津波復興祈念公園一次造成工事)

(災復380913号釜1号幹線災害復旧工事)

(流留真野沢田線道路改良工事)

工事請負契約の一部変更について

(釜大街道線道路新設工事)

(泊地区コミュニティセンター屋内退避施設改修工事)

(蛇田小学校校舎老朽化対策その他工事)

(万石浦小学校校舎老朽化対策工事)

(桃生中学校校舎老朽化対策工事)

(23年災泊漁港ほか1漁港災害復旧工事)

(23年災給分漁港ほか海岸保全施設災害復旧工事)

(23年災長渡漁港災害復旧(その3)工事)

(湊北地区土地区画整理事業宅地造成道路築造工事)

(湊西地区土地区画整理事業宅地造成道路築造工事)

(石巻市総合運動公園造成(その4)工事)

(石巻市総合運動公園整備(その5)工事)

あらたに生じた土地の確認について

町の区域を変更することについて

字の区域を変更することについて

市道路線の認定について

市道路線の変更について

# 第4回定例会で議決した主な議案

## 可決された主な条例

### ◆石巻市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

○「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律」が平成27年9月4日に公布、平成28年4月1日から施行され、これまでの公選制と選任制による農業委員の選出方法が、議会の同意を得て市長が任命することに改められたほか、農地等の利用の最適化の推進のために現場活動を行う、農地利用最適化推進委員が新設されたことから、それぞれの定数を定めるため、本条例を制定するもの。

### ◆石巻市防災センター条例

○市民の防災に関する知識及び技術の向上並びに防災意識の啓発、高揚を図るとともに、災害発生時における災害応急活動の拠点とすることを目的に、本条例を制定するもの。

## その他の主な議案

### ◆財産の無償譲渡について

○譲渡しようとする財産は、鉄骨造1階建ての建物で、石巻市立渡波保育所の仮設園舎として、本年3月まで使用し、当該保育所を移転新築したことに伴い用途廃止したもの。

本施設を民間事業者において再活用することにより、待機児童の解消を促進し、保護者の就労支援及び子育て支援が図られることから、譲渡する候補者について公募したところ、市内に事業所を有する2事業者から応募があり、「石巻市立渡波保育所仮設園舎民間移管先候補者選定委員会」の審査結果に基づき、「社会福祉法人夢みの里」を候補者として選定し、無償譲渡するもの。

## 可決された補正予算の主な内容

今回の補正予算は、第19回目の「東日本大震災復興交付金」の交付に伴う基金への積立金のほか、(仮称)大川地区地域交流センターの整備に要する経費や、北上観光物産交流センターの指定管理料、優良建築物等整備事業に対する補助金を措置したもの。また、入学前に支給する就学援助費や、荻浜小学校の閉校に係る経費などを措置したもの。

### ◆総務費では

- ・本庁舎1階の改修に要する経費
- ・地域イントラネット用光ファイバーケーブル等の移設に要する経費
- ・(仮称)大川地区地域交流センターの整備に要する経費

### ◆民生費では

- ・私立認可保育所運営費(私立認可保育所運営業務委託料)
- ・地域型保育事業運営費(地域型保育事業給付費)

### ◆衛生費では

- ・浄化槽整備事業特別会計繰出金

### ◆農林水産業費では

- ・みやぎの畜産雇用創出推進事業費補助金
- ・漁業協同組合が行う国際的な水産認証の取得経費に対する補助金

### ◆商工費では

- ・新たな特産品の研究・開発としてオリーブ等の栽培を行う経費
- ・北上観光物産交流センター指定管理料

### ◆土木費では

- ・新渡波地区における工法変更に関する経費
- ・総合運動公園施設整備におけるトイレのバリアフリー化改修工事等に要する経費
- ・雄勝中心部地区、鮎川浜地区拠点エリアの整備に要する経費

### ◆消防費では

- ・消火栓設置工事に要する経費

### ◆教育費では

- ・新入学準備金の入学前支給に要する経費

### ◆災害復旧費では

- ・女川消防署雄勝出張所の整備に要する経費

### ◆公債費では

- ・災害援護資金の償還に要する経費(平成29年4月～9月に繰上償還及び約定償還されたもの)





## 各常任委員会審査報告

12月8日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。  
各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 総務企画委員会

石巻市防災センター条例について

**Q** 平時における防災センターの利活用について伺う。

**A** 多目的ホール及び会議室は地域住民が交流の場として随時活用できる施設として、また、防災士のスキルアップ講習などの場所としても考えている。なお、シミュレーション室は災害ロールプレイングゲームを活用して、教育委員会などの協力を得ながら、子ども達を集めて随時行う研究室にしていきたい。

平成29年度石巻市一般会計補正予算(第5号)について

**Q** 本庁舎1階に既存する14テナントとの契約と説明状況について伺う。

**A** 6月11日に旧テナントが急きょ撤退した時点で借地借家法上の保護として、既存テナントと旧テナントが当初契約していた期間を保障するために、本年6月12日から平成

## 環境教育委員会

学区再編について

**Q** 今後の市内全域における学区再編計画の策定について伺う。

**A** 現在は学区再編計画の素案を策定し、その内容について小・中学校の保護者へ説明を行っている状況である。

**Q** 地域性に配慮した学区再編の在り方について伺う。

**A** 子供たちの教育環境を整えることが第一だが、学校の統廃合はデリケートな部分が多く、地域住民や保護者の意見も聞きながら計画策定に取り組んでおり、現在の素案では、旧市、旧町を越えないように統廃合を行うように配慮している。

**Q** 学区再編に伴う通学支援について伺う。

**A** 統合により距離的に通学が困難となった地域には、スクールバス等による通学支援を行っている状況にあることから、今後の統廃合においても、通学距離・通学時間等を考慮しながら通学支援について検討を行っていく。

旧観慶丸商店の管理運営について

**Q** 指定管理者の募集目的、募集方法及び応募団体数について伺う。

**A** 市指定文化財である旧観慶丸商店をより効果的・効率的に使用し、管理運営を行うこととしており、公募したところ、市内2団体から応募があった。

**Q** 指定管理料及び1階文化交流スペースの利用料金について伺う。

**A** 指定管理料は応募時に、年間930万円で指定管理者候補者から提案されており、今後、年度協定に向けて協議を行い、詳細を決定する。また、文化交流スペースの利用料金は、1時間当たり500円、終日利用の場合は5千円として条例で規定している。

旧観慶丸商店の指定管理について

**Q** 一般社団法人ISHINOMAKI2・0を指定管理者候補者として選定した理由について伺う。

**A** 学識経験者や各種団体等から推薦された方々で構成する選定委員会において、書類審査、プレゼンテーション及びヒアリングを行い審査・採点を行った結果、高得点であった当該団体を選定した。

## 保健福祉委員会

私立認可保育所運営費について

**Q** 私立認可保育所運営費に計上された予算の内容について伺う。

う。

**A** 当初予算で積算した国の公定価格において、本年度基準による単価改定に伴う増額のほか、処遇改善加算率の上昇分、また本年度から採用されている勤務年数に応じた加算項目の処遇改善の追加分で不足が生じる。私立認可保育所12カ所分の補正である。

**地域型保育事業について**

**Q** ゼロ歳から2歳までの乳児に対する受け入れについて伺う。

**A** 平成27年度からスタートした子ども・子育て支援新制度により、3歳未満児を対象とする小規模保育事業所が市内に9カ所設置され、本年11月1日時点で151人が利用している。

なお、ゼロ歳から5歳までの待機児童の総数は、60人となっており、そのうち約76%に当たる46人が3歳未満児である。

**Q** 小規模保育事業所卒園後の3歳児の受け入れについて伺う。

**A** 小規模保育事業所は2歳までの利用のため、卒園後、保護者は新たに保育所を探すことになるが、幸い本市においては、今のところ3歳になってから保育所に入れなかった児童はいないものの、小規模保育事業所が増えれば増えるほど3歳児になった場合に利用できる施設と連携ができなければ、受け入れができなくなるため、市としては、認可保育所での

受け入れを拡大することで対応していきたい。

**Q** 保育施設の再編計画について伺う。

**A** 今後の保育環境の向上に向けて、私立保育所は安定的な運営ができるように、また、公立保育所は特別な支援を必要とする児童に対して重点的に保育サービスを提供していくように調整していきたい。

**Q** 指定管理者の指定について（石巻市子どもセンター）

**A** 指定管理者に指定する法人団体について伺う。

**Q** 指定するいしのまき子どもセンターコンソーシアムは、NPO法人ベビースマイル石巻とNPO法人子どもにやさしいまちづくりの2団体で構成されている。

**Q** 民間に管理・運営を任せることで職員の雇用の懸念について伺う。

**A** 現在、市が直接、雇用している児童厚生員は、来年3月末で契約が満了となるが、利用している保護者からは、現在の職員に残ってほしいという要望が大変強い。法人団体に対しては、継続雇用について、できるだけ考慮してもらえようお願したい。

**Q** 財産の無償譲渡について

**A** 譲渡するに至った経緯、経過について伺う。

**A** 再建した新渡波保育所の供用開始により、仮設保育所園舎として建設した旧渡波保育所を本年3月31日で用途廃止した後、解体する計画であったが、東部地区における本年度の保育所の入所申し込み件数が多数あり、民間に無償譲渡して本施設を活用することにより、保育供給量の拡大を図るため公募により譲渡先を決定した。

**産業建設委員会**

**Q** 石巻市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例について

**A** 委員の選考基準について伺う。

**Q** 現在、農業委員会の委員選任に関する規則及び選考委員会設置要綱等を準備しており、条例可決後に定めたいと考えている。

**Q** 石巻市観光物産情報センター条例を廃止する条例について

**A** 観光物産情報センターの機能移転について伺う。

**Q** 来年度1月から市役所庁舎内に一時的に移転する方向であり、事務所機能については5階市民サロンの一部に、そして観光PR・物販機能については、1階南側に移転する予定である。

**A** ASC等漁業認証支援事業について

**Q** 市内の認証申請と補助制度の内容について伺う。

**A** カキを前提とした宮城県漁業協同組合の石巻地区支所・石巻湾支所・石巻市東部支所の3支所から申請がある。認証取得にかかる経費300万円のうち、県の補助が2分の1、市の補助が4分の1、漁業協同組合が4分の1の負担となる。

**Q** 北上観光物産交流センターについて

**Q** 事前周知について伺う。

**A** マスコミ等の活用や施設周辺へのほりを設置するなどして周知を図る。

**Q** 総合運動公園施設整備について

**Q** トイレ改修工事の期間について伺う。

**A** フットボール場については、今年度末まで、また野球場とその他の外周トイレについては、年度を越えてしまいが、支障のない時期に行う。

**Q** 備品購入の内容について伺う。

**A** 2019ラグビーワールドカップ公認キャンプ地誘致に伴う備品購入であり、フリーウェイトマシンが18基、ほかに一般の方にも利用いただけるようなストレッチマシンや筋トレマシンを12基予定している。

## 第4回定例会に提出された請願

### ■『地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書』の提出方請願書

(提出者) 石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会 会長 亀山 紘  
(紹介議員) 阿部 欽一郎、近藤 孝、青山 久栄、伊藤 啓二、庄司 慈明

※この請願は、産業建設委員会で審査され本会議で採択されたことにより、以下の意見書を提出することが可決されました。

### 地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書（委員会提出議案第5号）

「石巻新庄道路」は、宮城県石巻市から大崎市を経て、山形県新庄市に至る地域高規格道路であり、事業中の「新庄酒田道路」とあわせて、東北中央部における東西交通軸「みちのくウエストライン」として、広域的な地域連携の強化を図る重要な役割を担っている。

また、本道路は、石巻、大崎、新庄最上、庄内各沿線地域の産業経済活動の活性化はもとより、地域間連携による観光ネットワーク形成など、新たな可能性を生み出し、大きな効果をもたらす重要なツールとして期待されており、太平洋、日本海地域を結ぶ大動脈として、災害時には、救援活動や物流面で、まさに「いのちの道」として、地域住民の生命と生活を守るための重要な横軸の道路となるものである。

しかし、自動車交通への依存が顕著な社会環境にありながら、高規格幹線道路を軸とした道路網の整備が立ち遅れており、県道や市町道を含めた体系的な道路の早期整備が最重要課題となっている。

地方にとっては、真に必要な道路は未だ整備が進んでおらず、都市と地方の地域格差は広がる一方であり、政府の推し進める「地方創生」の実現にも大きく影響を与えるもので、重大な危機感を持たざるを得ない状況にある。

よって、地方の道路整備の必要性を十分認識され、関係地域住民の熱い要望に応えるため、次の事項について強く要望する。

#### 記

- 1 東日本大震災により壊滅的な被害を受けた三陸沿岸地域の復興と社会資本のストック効果を早期に発揮させる地域高規格道路「石巻新庄道路」の早期実現を図ること。また、その起点となる「国道108号石巻河南道路」の早期計画段階評価に向けた調査・検討の推進及び山形・宮城県境付近の狭隘・視距不良を解消し、冬期間を含め、安全・安心な通行を確保するため「国道47号県境バイパス整備」の早期実現を図ること。
  - 2 国の公共事業関係費の長期的・安定的な確保、復興関連予算の復興事業完了までの継続的な確保、並びに道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律に規定する国の負担割合特例の継続と制度を拡充すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

## 石巻市議会豆知識



### Q 意見書とは？

- A 地方自治法第99条の規定に基づき、市議会は市の公益に関することについて、国会、関係行政庁に対し、議会の意思を意見としてまとめた文章を提出することができます。その文書のことを意見書といいます。

## 第4回定例会に提出された陳情

### ■『ヒバクシャ国際署名への署名と日本政府へ核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出のお願い』

(提出者) 宮城県原爆被害者の会 ヒバクシャ国際署名連絡会宮城 会長 炭谷 良夫

### ■『介護福祉施策の充実を求める国への意見書提出に関する陳情書』

(提出者) 特定非営利活動法人 介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ 理事長 内館 昭子

### ■『平成30年度税制改正に関する提言について』

(提出者) 一般社団法人 宮城県法人会連合会 会長 菅原 一博  
公益社団法人 石巻法人会 会長 松本 賢

※これらの陳情は、全議員へ写しを配付しました。



# 一般質問

議員21人が登壇

## 市政を問う!

第4回定例会の一般質問は、12月18日、19日、20日、21日、22日の5日間行われました。今回は21人の議員が市政全般にわたり市当局の見解を明らかにしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

### 一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です)

<p>①遠藤 宏昭</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>石巻市立病院の現状について</li> <li>期日前投票所の利用状況と投票率について</li> </ol>	<p>⑪阿部 浩章</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域経済分析システム (RESAS) の活用について</li> <li>職員の人事異動と人事評価について</li> <li>沿岸・半島部における観光拠点整備事業について</li> <li>学校教育施設 (旧大須小学校、旧大須中学校) について</li> </ol>
<p>②千田 直人</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>夜間急患センターの診療実績と課題について</li> <li>沖縄県大宜味村と相互発展に結ぶ交流について</li> <li>あの質問・あの要望実現への対策について</li> </ol>	<p>⑫青山 久栄</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自転車による地域活性化について</li> <li>鹿対策について</li> <li>ふるさと納税について</li> <li>「太平洋写真学校」について</li> </ol>
<p>③山口 荘一郎</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学区再編の進め方について</li> </ol>	<p>⑬渡辺 拓朗</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>人口流出防止策について</li> <li>石巻市総合交通戦略について</li> <li>パークゴルフ場について</li> </ol>
<p>④奥山 浩幸</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市職員の働き方改革について</li> <li>石巻市消防団の現状について</li> </ol>	<p>⑭西條 正昭</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>半島部・沿岸部の復旧復興加速そして、完結について</li> <li>「全国豊かな海づくり大会」開催について</li> <li>2020年「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」について</li> </ol>
<p>⑤千葉 眞良</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>立町通りの無電柱化について</li> <li>放射性廃棄物の処理について</li> <li>湊の諸課題について</li> <li>人事課題について</li> </ol>	<p>⑮後藤 兼位</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>復旧・復興加速の課題と行財政運営について</li> </ol>
<p>⑥佐藤 雄一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ロックンロールの町・石巻について</li> <li>高齢者の生活について</li> <li>どぶろく特区について</li> <li>河南地区の諸課題について</li> </ol>	<p>⑯櫻田 誠子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>教育について</li> </ol>
<p>⑦阿部 利基</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>石巻×ハケン→ZENSINプロジェクトについて</li> <li>石巻市の意思決定について</li> <li>大局観を持った市政に向けて</li> </ol>	<p>⑰阿部 正敏</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>魚市場の水揚げ状況と水産加工の現状について</li> <li>半島部における住民が望む復興整備について</li> <li>中心市街地のランドデザインについて</li> </ol>
<p>⑧水澤富士江</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>放射能汚染廃棄物の混焼処理と河南一般廃棄物最終処分場への埋め立て問題について</li> <li>災害公営住宅の今後の家賃について</li> </ol>	<p>⑱楯石 光弘</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>未来に「生きる力」と基礎学力向上対策について</li> <li>教員の多忙化軽減対策について</li> <li>おらほの復興マラソンの復興について</li> </ol>
<p>⑨近藤 孝</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>組織機構改革について</li> <li>国際交流について</li> <li>下水道整備について</li> <li>防火水槽、消火栓整備について</li> <li>文化財標柱説明板整備について</li> <li>放射能汚染稲わらの処理について</li> </ol>	<p>⑲阿部 久一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>道路網の整備について</li> <li>水産振興策について</li> <li>地域包括ケアシステムの推進について</li> </ol>
<p>⑩阿部 正春</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>石巻の復興について</li> </ol>	<p>⑳高橋 憲悦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市民生活と市政を直結した市政運営を目指して、諸課題への対応策について何う。</li> </ol>
	<p>㉑庄司 慈明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>人が集い、語らい、寄りたくなる地域の形成を -プロムナード計画とその周辺事業の充実を願いながら-</li> <li>女川原発再稼働をめぐる諸問題 -安心して住み続けられる地域であるために-</li> </ol>



遠藤 宏昭 議員

・石巻市立病院の現状について

問 子育てに関連する「産科」「小児科」など、市民からの要望がある診療科の増設は、実現する可能性は高いのか。

答 今後の医療需要の推移を見極めながら検討する。

問 ますます少子化が進む予想なので、普通に考えれば、「産科」「小児科」の医療需要は減っていくのではないかと。市民のニーズに合わせるには、地元医師会との協議が前提であるが、「皮膚科」「眼科」など、市内にある病院で、とても混んでいる診療科の増設を検討すべきと思うが、いかがか。

答 良い提案であり、病院局でも「皮膚科」「眼科」それに「耳鼻科」の外来の開設を目指している。東北大学病院に医師派遣のお願いをしてみる。



▲市立病院内にある再生ピアノ「シンディ・歌手ローパー」さん寄贈

・期日前投票所の利用状況について

問 大型商業施設である「イオンモール石巻」には、3日間限定の設置にもかかわらず、2704人の利用があったとのこと。また、宮城県内で唯一設置された「石巻専修大学」には、46人の利用があり、1日限定で初の試みであることを勘案すれば、大変な成果である。学生の生活動線に投票所を置き、選挙へのきつかけをつくることは、若者の投票率を上げるには良い施策であり、継続すべきである。

答 今回の成果について、しっかりと検証したい。



千田 直人 議員

・沖縄県大宜味村と相互発展に結ぶ交流について

問 宮城新昌氏の偉業を称え姉妹都市締結について伺う。

答 相互気運を見据え姉妹都市締結に対応する。

・あの質問・あの要望実現への対策について

問 「桃生野球場の改修に関する要望」として①電光掲示板への改修、②グラウンドの整備、③応援席の設置、④照明設備の設置などの対策は。

市長 要望に沿い優先順位をつけて取り組む。

問 桃生総合センターの管理状況は。

答 アスレチック遊具が2基故障、総合支所と協議し利用可能に改善する。

問 桃生中学校アスベスト除去ならびにグラウンド土砂入れ替えは。

答 アスベスト除去は終了。グラウンド土砂入れ替えは、部分改修や工法検討し実施する。

問 「桃生道の駅基本構想」作成だが、開業はいつをめどとするのか。

市長 三陸道の利便性が高い桃生道の駅は必ず実現する。

問 「桃生幼保二元化施設整備事業」用地は、仮設団地だが計画実現の見通しは。

答 新田保育所及び桃生幼稚園を統廃合し「公立子ども園」の整備計画である。

問 市道河北境一号線や新古川西堤線整備、角山袖沢線や袖沢北後線整備に向けた対策は。

答 事業実施に向け関係部署と協議検討したい。

問 「総合支所安全対策費」1億円に増額し市民要望に応えるべきである。

市長 どの程度が適切か総合支所と検討する。



山口荘一郎 議員

問 学区再編計画素案の概要と保護者等への説明状況は。

答 最も早い学校では平成32年度、遅い学校で平成37年度には小学校36校を24校に、中学校は19校を15校に再配置する。学校等への説明会は一巡し、地域への説明はこれから行う。

問 小中学校の適正配置に関する基本方針で示す標準規模とは別の新たなダブルスタンダードを作ることが正しい手法なのか。

答 基本方針とはズレがあるものの、教育委員会からこのようにしたいという行政主導計画とはしない。

問 基本方針では「他の自治体のように「地区や学校を指定し統合目標年度を設定する等の行政主導型の適正配置計画」は策定せず」とうたっているにもかかわらず、素案では「平成●●年度をめどに●●小学校と●●小学校の統合を進める」と明らかに学校と目標年度を示している。方針と全く逆だ。

答 学校名は示しているが、統合するという断定的な言い方はしていない。「統合を進める」という表現である。

問 保護者から「津波被災を経験した立場として、統合の是非を検討するには統合場所の案が必要だ」といくら求めても、「学校同士で決めてください」とする教育委員会の姿勢は、浸水区域や災害を意識した立地条件を考慮するという方針すら無視しているのではないか。

答 地域の方と話し合いを進め、教育委員会が決定する。





奥山 浩幸 議員

・石巻市消防団の現状について

**問** 消防団の加入促進策について

① 消防団員が減少する中、様々な選択肢を提供し、防災に携わる人々を増やすという観点から、特定の活動や役割に限定した機能別消防団員は大きな可能性がある。国では国家公務員や地方公務員の消防団員となる兼職に関する特例を推奨しているが、宮城県内では、259人が消防団員として活躍している。当市の職員にとっても、防災行政の理解促進につながると思うが見解を伺う。

② 消防団の活動や勇姿を、広く市民に見ていただく機会を作ることが、加入促進につながるのではないかと。日頃の訓練により培った消防操法技術を「石巻川開き祭り」で披露し、広報活動をしてはどうかと考えるが見解を伺う。

**答** ① これまでも全庁的な広報をしてきたが、現在4人が団員となっている。他自治体では研修の一環として取り組んでいる事例があるので、今後参考にしながら市職員の団員の確保に努めていく。

② アピールは有効な策と考える。今後、消防団の会議等で働きかけ検討していく。

**問** 訓練の場の確保について

南浜復興祈念公園内に操法大会や各種訓練の場の確保を提案したが、実現できるか伺う。

**答** 専用の設備はないが、利用できる空間は確保する。今後、広域消防本部協の市有地の活用についても消防団と協議する。



▲消防団水防訓練 月の輪工法



千葉 眞良 議員

・立町通りの無電柱化について

**問** 今年5月頃に陳情書が出ているが、その後の状況はどうなっているか伺う。

**答** 今年6月6日に、本庁に対して「中心市街地のメインストリートとして景観に配慮した無電柱化を推進していただきたい」とした要旨により、立町大通り商店街振興組合から陳情されたところである。

現在、無電柱化に向けた研究や先進地事例等の調査を進めているが、今後においては、道路管理者である宮城県に対し、国道398号改良整備促進既成同盟会において、無電柱化の実現に向けた道路整備を要望していきたいと考えている。

・放射性廃棄物の処理について

**問** 焼却に際しての、職員の被爆管理について伺う。

**答** 本事業のすべての処理工程において、焼却施設関係職員が放射性廃棄物に直接触れることがないような処理を行う計画であり、焼却施設関係職員については、あらかじめ、放射線の基礎知識と健康影響等の研修を実施し、しっかりと被爆抑制した管理を行う計画である。

・湊の諸課題について

**問** 湊小前の歩道橋・大門崎歩道橋の供用開始はいつになるか伺う。

**答** 宮城県が実施している国道398号の湊道路改良事業において、昨年度、発注された湊歩道橋・大門崎歩道橋の設置工事については、年内に完成し、来年1月10日に供用を開始する予定であると聞いている。



佐藤 雄一 議員

・ロックンロールの町・石巻について

**問** 石巻市内ではバンド練習ができる場所が少ない。南境に建設予定の複合文化施設などに音楽スタジオを造れないか伺う。

**答** 複合文化施設には防音の練習室を複数整備する。必要な備品についても検討する。

・高齢者の生活について

**問** 当市の老人クラブの活動状況、喜ばれる敬老会にするための工夫について伺う。

**答** 当市では91クラブ、3109人が活動している。河南と桃生で調査を行なったが他の地区も喜ばれる敬老会の在り方について検討する。

・どぶろく特区について

**問** どぶろくが新たな産業になり得るか伺う。

**答** 産業としては厳しいが、今後、本市においてどぶろく特区の活用に関する要望が出された際、検討する。

・河南地区の諸課題について

**問** 中学校の通学路で街灯が少ない所と、除雪車が通らない所について心配する声があった。今後整備する予定があるか伺う。

**答** 現在、市内の全街灯LED化に向けて調査業務を行っており、地元の情報と合わせて検討する。除雪対象外の道路は融雪剤を配布し、町内会など地元協力のもと融雪を行う。



阿部 利基 議員

・石巻×ハケンZENSHINプロジェクトについて

**問** 提案は素晴らしい、石巻市の今後に必要な案件なのでぜひ導入していただきたい。たとえば市長と若手職員のランチミーティングなどはどう進めていくのか。

**答** 新聞紙面でも答えたが積極的に検討していく。

**提案** 検討ではなく具体的に進めるべき。トップから積極的な声がけをし、市役所を活性化してほしい。若手からすると市長や議員は恐れ多い印象のほず。意見をもらうためにも上からの声がけが大事。

・石巻市の意思決定について

**問** 庁舎内の暴力事件について、その処分は副市長権限だがなぜ処分対応しないのか。

**答** 司法の判断待ちである。

**提案** 市役所組織に自浄作用があるように見えない。司法判断に沿うのは大事だが、市として暴力はならんという意思が欠如しているように見え、市役所全体の士気を下げている。石巻市役所の良心に期待する。

・大局観を持った市政に向けて

**問** 例として、保育園をただただ増やす政策ではなく、家庭で子育てできるような社会環境づくりへの政策こそ今必要ではないか。

**答** 思いは同じである。

**提案** ハコを増やせば維持費がかかる。今、保育所が必要なのは夫婦共働きじゃないと生活を維持できない労働環境のせい。給与アップや家庭で面倒を見ている世帯への褒賞などソフト面こそ積極的にやり、暮らしやすい社会をつくって頂きたい。



水澤富士江 議員

・放射能汚染廃棄物の混焼処理と河南一般廃棄物最終処分場の埋立について

石巻市のキャッチフレーズ「食彩・感動いしのまき」水産業ばかりでなく農業まで風評被害で苦しむことがあってはならないと強く思います。放射能は焼却したり埋立てをしたところでも減ることも減ることもありません。被ばくと汚染の拡散を防ぐため隔離・保管が原則です。放射能は人体に極めて危険です。低線量被ばくであつても遺伝子を傷つけ、がんなど人体に異常を発生させる可能性が高く、しかも被ばくから発症までの期間は長期に及ぶと言われています。これ以下は安全だという閾値（しきい値）はありません。予防原則は「避けられるなら余計な被ばくは避ける」ことです。

**問** 市長は7月6日の河南での説明会で「理解が得られなければやらない」と明言しました。河南では、多くの住民の反対の声がある。住民合意がなければ進めるべきではない。

**答** 信頼を得られるよう努めながら、事業の進展を目指す。中止する考えはない。

・災害公営住宅家賃低減の延長を

**問** 年金のみで暮らす高齢者入居者が多い。なんとしても実現を。

**答** 平成25年度から平成28年度まで「災害公営住宅家賃低減事業」及び「東日本大震災特別家賃低減事業」により交付された収入と家賃等の収入、管理費等の支出を差し引いても37億7千万円の残額がある。長期的見通しを立てた上で、被災した入居者に寄り添いながら、前向きに検討する。また、収入超過者の家賃減免についても検討している。



近藤 孝 議員

・河南地区の課題について

**問** 須江小とモンゴル小の交流事業で、平成30年5月にモンゴル芸術団を招き交流を計画している。ぜひ支援すべきと思うが。

**答** 子供たちにとって国際交流ができる良い機会であり、どのような協力で支援すべきかを石巻モンゴル友好協会と協議していく。

**問** 下水道設備の進捗と今後の取り組みについて  
鹿又地区の公共下水道の接続は本年度末に完成する見込みである。また区域内で浄化槽から公共下水道に接続替える世帯に対し助成制度を検討している。

**問** 受益者負担金の考え方について

**答** 負担金の新たな基準については、旧市と旧町では土地利用の形態が大きく異なることから、今後十分な協議検討を重ねて行く。

**問** 防火水槽、消火栓、無蓋防火水槽について

**答** 消火栓244基、防火水槽193基整備、毎年1基か2基計画的に進めている。また無蓋については市全体で75基、そのうち河南は10基あり年次計画を立て有蓋化を進めて行く。

**問** 文化財標柱説明板整備について

**答** 震災前の調査では市全体として590基中、倒壊・不明が170基、その後震災により流失・倒壊や経年劣化もあることから、全体調査を実施して早期に年次計画を作成し更新、耐久性の高い材質のものを整備していく。





阿部 正春 議員

・石巻の復興について

**問** ①水産物地方卸売市場が震災前より大きくなった理由を伺う。  
 ②石巻元気いちば、石巻の豊富な食材を全国に発信できるマーケットなのか伺う。  
 ③JF青年部、壮年部、JA青年部の事務局を市の水産課、農林課で指導されたらいかがか。  
 ④毎年一定の場所で行えるイベント広場を設置されたらいかがか。  
 ⑤地盤の戻りで高くなった岸壁の対応について伺う。  
 ⑥追波のベッコウシジミ、その後の経過はどうかか。  
 ⑦リボン・アート・フェスティバル51日間、どのように評価されているのか伺う。  
 ⑧サン・ファン・パウティスタ号、東京オリンピックまでそのまま展示とのことだが、ミュージアムもそのままなのか伺う。

**答** ①ひさしや車見本置き場、放射線検査室等の新たな施設、作業動線を確保、車両通行に必要な通路の確保など相対的に検討した結果、大きな施設となる。②各種イベント、SNSの活用、集客、告知等広報活動を行っているが、全国的な認知にはもう少し時間が必要と考える。③技術的指導、支援については、県の普及指導員が対応、引き続き現在の体制を維持することが最善であると考えている。④隆起量30センチ以上確認される施設について隆起相当分各漁港1回のみかさ上げ可能としている。⑤地盤隆起、河川の復旧工事の進展により生息環境が改善しており、水揚げも改善傾向にある。⑥被災地である本市が芸術祭を開催し、復興に向けて前進している姿を全国に発信できイベントとしては成功であったと評価している。⑦検討委員会と並行して公益財団法人慶長遣欧使節船協会及び関係団体と十分な誘客を図れるような取り組みを議論していく。



阿部 浩章 議員

・学校教育施設（旧大須小学校・旧大須中学校）の再利用計画について

**問** 東京オリンピックを指し全日本チームの一員として活躍している藤井選手に協力いただき、子供たちを対象としたバレーボール教室を開催してはどうか。また小中高大学などの合宿所として再利用してはと考えるが。

**答** 大須小中の利活用については、地域の方々をはじめ関係者と協議を進めているが、バレーボール教室のような行事を通してなにかしらの利活用につなげていけば素晴らしいことであり検討していきたい。

・沿岸・半島部における復興事業について

**問** 観光交流人口を増やすための対策について伺う。

**答** 各地域ともに多くの特色のある自然景観や歴史文化、水産資源があることから、観光資源を県内外にPRし、観光交流人口の増加を図るように努めていく。

**問** 雄勝波板地区の海水浴場の再生について伺う。

**答** 波板海水浴場は地域再生、交流人口の増加を図る上で大変貴重な地域資源であり、今後も地元のみならずと整備内容、管理方法等について十分に話し合っていく。



青山 久栄 議員

・自転車による地域活性化について

**問** 過去5回のツール・ド・東北開催により、地域は被災からの復興に大きな勇気をもらった。その支援の思いに応えるべく、モデルコース等を整備すべきである。

**答** 北上フォンドのコースに、常設の案内板やサイクルオアシスを整備する。

・鹿対策について

**問** 鹿の生息域は拡大しており、農林被害はもとより交通事故も多発している。個体数を減らさなければならぬが、銃の免許保有者は減少している。わな免許取得を支援せよ。

**答** 今年度の捕獲は、1700頭の目標を達成できそうだが、わなによる捕獲は300頭となっている。比重をわなにシフトする必要があるため、講習会の費用を助成したい。

・ふるさと納税の見直しについて

**問** 行き過ぎた返礼品に対して、総務省から指導があった。郵便局やシルバー人材センターと提携し、お年寄り世帯の見守りや空き家等の管理を返礼品のメニューに加えてはどうか。

**答** そのようなことも含め、これから検討してみたい。

・「太平洋写真学校」について

**問** 人気だった北上地域の写真セミナーが、震災で仲間を亡くしながらも、このほど再開にこぎ着けた。地域活性化につなげよ。

**答** 地場産品の紹介や宿泊の提供を通して、交流人口の増加など地域振興を図っていく。





渡辺 拓朗 議員

・人口流出防止策について

**問** 市内高校生等への意識調査結果によると市内就職希望者が前回調査より7ポイント後退した。少子高齢社会が加速する中で若者の流出はこれまで以上に大きな損失である。認識と対応策を伺う。

**答** 国も若者の地方からの流出について様々な対策を行っているが首都圏への人口集中は解消されていない。今後も「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において各種事業実施成果の評価・検証結果を踏まえ効果的な施策を国・地方が一体となって中長期的に取り組んでいく。

**問** 求人倍率上昇傾向の中で最大の被災地ふるさと石巻の置かれている立場を踏まえ石巻の人材育成へと教育現場ではどのように教育指導しているのか。

**答** 学校教育でも地域との関わりが求められている。故郷を愛し自己を見つめ自分を成長させていくため就業体験活動を通し大人の働く姿から自己実現のために石巻で生きて行くという事につながっていただきたいと願っている。

**問** 若者の定住促進のために、担い手支援事業の分野を拡充すべき。

**答** 水産分野に加え農業分野の支援策を検討する。今後も定住・移住支援を幅広く行っていく。



西條 正昭 議員

・半島部・沿岸部の復興加速そして、完結について

**問** 復興庁も平成33年3月に解散となる。全ての事業が完結するのか次の4点について伺う。

①半島部・沿岸部の拠点整備の進捗状況について  
②マンパワー不足対策について  
③震災復興祈念公園、旧市南浜町・旧町への対応について  
④地盤沈下による排水不良対策について伺う。

**答** 全国の自治体から多くの応援職員の派遣を受けている。復興事業の進捗状況に応じて適正かつ効率的な職員配置を行い、平成32年度中の完成に向けて鋭意取り組んで行く。

・全国豊かな海づくり大会について

**問** 平成32年度は宮城県で開催される。天皇皇后陛下のご臨席なさる「三大行幸啓」の一つである。大会のメイン会場誘致に全力傾注すべきであるが伺う。

**答** 本市、東松島市、女川町の行政・議会・商工会が連携して、県に対し要望し、是が非でもメイン会場を誘致したい。

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会について

**問** 聖火リレーの出発地と事前キャンプ地の誘致について伺う。

**答** 被災3県の自治体、その中でも最大の被災地である本市が発源地となるよう積極的に誘致活動を行っていく。

本市は7人制ラグビー及び米国との野球について表明している。ラグビーの相手国は検討中である。

**問** 復興「ありがとう」ホストタウンについて伺う。

**答** 本市とつながりや交流がある国、震災発生時から支援をいただいた国、継続的に交流可能な国等、相手国を選定して申請して行く。



後藤 兼位 議員

・復旧・復興加速の課題と行財政運営について

**問** 青葉西地区の市街化区域編入を急ぐべきだ。

**答** 区域編入について、地元の皆様の意見を聞きながら駅周辺としての土地利用の在り方や隣接する東松島市と調整を図り県と協議する。

**主張** 石巻あゆみの駅が新設され環境条件が大きく変化した。地区計画をかけるなど市の積極的な将来を見据えたまちづくりが必要だ。

・子育てを支援する環境整備について

**問** 保育所の待機児童、病後児保育、休日保育、24時間保育等、子育てを支援する環境整備の実現を求めぬ。

**市長** 子育て世代に対する支援を進めることで若者の定住を図ることが重要と考える。他の財源を切りつめても財源を確保し新しい施策を行って子育てしやすいまちにしたい。

**主張** 将来を見据えたビジョンとして子育て支援でまちづくりを実行すべきだ。少子高齢化の中で30歳前後の中間層の夫婦が子連れで転入希望したくなる「子育てしやすい石巻」を実現すべきだ。例えば、市営住宅等を子育て世代優先活用する等「子育て世代誘致」により人口・税収増を図り自治体間競争を勝ち抜き地域活性化を実現すべきだ。

・空家等対策推進事業について

**問** 平成27年5月空家対策特別措置法が施行され所有者に対して適正管理を義務付け、管理不十分な空家に対し様々な罰則が設けられた。市の今後の対応について伺う。

**答** 平成30年度から、現地調査や所有者への意向確認を実施し空家の実態把握に取り組む。



櫻田 誠子 議員

・教育について

**問** いじめ防止対策推進法が施行され、対象生徒が心身の苦痛を感じているということを見逃さないために学校での認知の仕方について

**答** 「積極的認知」の考え方のもと、生活アンケートを月に一度実施し、担任のみならず担当教諭を置きチーム学校としていじめられた側に寄り添い、いじめた側にも寄り添い対応する。

**問** 月に一度のアンケートでは把握できないこともあるのではないかと。SNSの活用をすべきか。

**答** SNSでの通報、相談窓口は千葉県柏市等の自治体で設置、今後の推移を見て判断する。

**問** 不登校児童、生徒が全国一である。一人ひとりに合わせた対応が重要ではないか。

**答** 一時減少したが、また増加している。休み開始の初期対応も重要と受け止める。けやき教室への通所等、児童生徒の状況に合わせ保護者との連携も図り最善の方向性を見出す。

**問** 奨学金貸付事業は年間100人を目標。子育て支援策の一つとしてしっかり取り組むべきか。

**答** 子育て支援、人材育成として必要な事業であるので、周知を含め今後の在り方を検討。

**問** 学区再編計画素案の保護者説明会が行われたが、今後は地域の方々にも説明会を実施し、その上で子供たちを第一に考えるべきか。

**答** 早急に統合をという意見、現状のまま存続等意見がある。保護者・地域の意見を尊重する。

**問** I型糖尿病患者の学校生活支援について

**答** 県からの通達もあり保護者の意向を踏まえ、緊急時の対応、全職員の情報共有研修を行う。



阿部 正敏 議員

**問** 市長及び行政の漁船誘致活動の自己評価は。

**答** 十分な活動ではなかったことを反省している。これからは誘致活動に尽力していく。

**問** サケ、タラ、カツオ、イカなどの不漁が続いているが漁場の変化はあるのか。

**答** 黒潮の大蛇行や温暖化の影響はあるのではないかと。

**問** 県道女川牡鹿線大原橋地盤沈下による冠水対策はどう解消させるのか。大原漁港背後地のかさ上げ関連で県と協議が必要ではないか。

**答** 早速県側と協議をする。

**問** 大原浜の高台への避難道について孤立する地域がある。新たな避難道が必要ではないか。

**答** 孤立するところをすべて解消するよう整備を進める。

**問** 県道石巻鮎川線大原浜給分浜間の新しい防潮堤の越波が確認された。震災前の越波対策の継続をお願いしたい。また県道石巻鮎川線風越工区石巻側については見通しがついたが桃浦側については白紙である。事業化に向けて早急に調整すべし。

**答** 県側に申し入れる。

**問** 牡鹿支所大原出張所について完成予定は。

**答** 平成31年3月供用開始に向け進めている。

**問** 本庁舎一階の店舗に日用品雑貨販売の新たなスーパーの公募について

**答** キーテナント条件が整ったので早速公募する準備に入っている。



楯石 光弘 議員

知人のお母さんと息子さんの話。中学1年の数学のテストが百点満点中9点、お母さんは微笑んで「これ以上、下がんねがら、いがったね」と言ったそうです。その後、地元の高校で女の数学の先生の指導で数学が大好きになり、地元大学を経て、今は県立高校物理の先生をしているそうです。

・未来に「生きる力」と基礎学力向上対策について

**問** 子供には無限の可能性が秘められている。本市の全国学力・学習状況調査の年次推移をいかに分析し課題改善策は。

**答** 長期的に全国、県の値を下回っていて、特に算数・数学でその差が大きい。基礎基本が身に付くよう教員の指導力向上を図るとともに家庭学習・生活改善できるような支援する。

**問** 近年部活動など、教員の多忙化に対し、どのような軽減対策を行っているのか。

**答** 運動部など外部指導者の活用、事務の共同実施、ICTの活用など、より積極的に行って子供と向き合える時間を確保したい。

・おらほの復興マラソンの復興について

**問** 本市の復興マラソンの意味、位置付けをいかに考えるか。

**答** 震災支援への感謝と、元気な本市を発信するスポーツ振興の一大イベント。

**問** 全国に2000、本県でも40の大会がある。市民の市民による市民の健康のための、特に副賞に地場産品など、女性と子供に好まれる大会にすべきと考えるか。

**答** 実行委員会等で検討したい。





阿部 久一 議員

・道路網の整備について

**問** 防潮堤が高く海岸の状況が分からない。道路のかさ上げができないのであれば、防潮堤上部に津波の襲来を知らせる警報ランプを設置して走行中の車や沿岸部にいる船を避難させるべきである。

**答** 本市からの新しい津波防災警報システムの一つとして発信できれば素晴らしい。関係機関と協議したい。

・ホタテ養殖業水揚げ不漁対策について

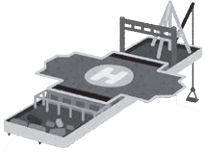
**問** 津波ですべてを失い、借金をして家や船、養殖漁具をそろえ、中には、後を継ごうと息子さんも養殖業に従事し再起をかけて頑張ろうとしている矢先の水揚げ不漁、ホタテ養殖業者や加工業者ひいては本市の基幹産業である水産振興に関わる事から早急に対策を講じるべきである。

**答** 県漁業協同組合や宮城県と連携しながら必要な対策を講じたい。

・ヘリポート場の整備について

**問** 夜間でも離着陸できるようなヘリポート場を牡鹿岬川地区と旧大須小に整備すべきである。

**答** 関係機関と協議をしたい。



高橋 憲悦 議員

・市民生活と市政を直結した市政運営を目指して、諸課題への対応策について伺う

**問** 深刻さを増し続けている二ホンジカ被害の被害状況、対策及び稲井地区対策協議会に対する支援策について

**答** 野菜などの農作物の被害、踏みつぶし、交通事故など多発している。稲井地区において竹で施している防護柵の支柱を鉄パイプにするための支援を検討し、地域における被害防止対策のモデル的な取り組みと期待している。

**問** 今後の財政見通し、行政の不手際による事件、事故などの対応と責任について。特に、復興期間終了（平成32年度）は、市長任期の最終年度であり、どう引き継がれるのか。

**答** 今後3か年の収支差額見込み額は、88億4千万円の大規模な収支差額（赤字）が発生する見通しである。それを財政調整基金で賄う。（財政調整基金は、台風等の被害やいざというための市民の貯金であり、恒常的に貯金を取り崩しての財政運営は健全でない。財政調整基金（貯金）は、平成32年度では、26億円であるが、今後、予想される膨大な歳出を考えると、極めて深刻な事態となると思う）。

また、4年9か月前に起きた職員の問題については、これまでの対応を改め、早急に対応するよう指示をする。市長としての責任は、適時速やかに対応したい。



庄司 慈明 議員

・人が集い語り合い寄りたくなる地域の形成を―石巻の顔、中心市街地活性化のために―

**問** 堤防の周りが暗くならない様な工夫は。

**答** 堤防を外れた盛土の部分や階段等の動線を配慮した場所に照明を設置することに市民の方々・専門家や河川管理者と協議する。

**問** 素敵な夜景で人が集いたくなる地域にするチャンスと考えるが、そのためにはトイレや階段とスロープへの手すりの設置が必要。

**答** トイレは公共的施設内の確認や距離の把握をし、手すりも市民の方々と議論を進める。

**問** 元気がいちはは民設民営ではあるが、その元気が市の元気とも言える。交流広場にドッチボールやストリートバスケットができるスペースを設けて、若者の歓声が響く。そんな空間があれば、人は寄ってくるのでは。

**答** 議員の前向きな発想で検討したい。

**主張** 文化と歴史が波打つ橋、若人が夢を愛を語り合う橋を造るために、高橋英吉の彫刻の設置等の工夫が必要であることを強調したい。

・女川原発再稼働の諸課題―安心して住み続けられる地域のために―

**問** ①格納容器の爆発等の最悪事態回避策であるベントは、住民の被ばくは避けられない。

②女川原発は「沸騰水型」のタイプだが、その容積は「加圧水型」と比べ7分の1であり閉じ込め能力は小さい。新聞に「広域避難態勢ほぼ整備」とあるが、これは市長の認識か。

**答** 自分（市長）の発言ではなく、不断に高めなければならぬのが実効性と考える。



出張

# なんでも懇談会を開催しました!!

平成29年11月21日(火)、平成29年度第1回市議会出張なんでも懇談会を市内4力所の会場で開催しました。

4会場合わせて22人の市民の皆様があり、貴重なご意見や要望などを伺いました。

皆様からいただいた貴重なご意見等は、今後の議会活動に活用させていただきます。

なお、各会場での詳しい内容は、市議会ホームページで見ることが出来ます。



▲石巻市役所 (参加者11人)



▲河北総合センター (参加者2人)



▲遊楽館 (参加者7名)



▲北上保健医療センター (参加者2人)

## 【懇談会で出された主な意見、要望等】

- 錦町の陸前山下駅から踏切までの間の道路狭道の解消について。
- 田道町居酒屋「いつものところ」前の道路での雨水冠水対策について。
- 40年以上前から鳥揚坂の道路改良が要望されているが、全く進展がない。早期実現を求める。
- 公共交通機関(特に鉄道)を充実させ、仙台市も通勤圏内にすべき。新駅の設置や駅周辺整備などを求める。
- 人口減少対策が急務である。働く場の確保、企業誘致に対してもっと本腰を入れるよう求める。
- 今後の少子高齢化社会をどう乗り切るかについて。
- 汚染稲わらの焼却灰の処理について。過日行われた未来石巻政策コンテストにおいて上位入賞した高校生の提案が素晴らしい。大人と若者の考えのマッチングできるような取り組みを求める。
- 亀ヶ森神社で子供たちの遊びの場を提供しているものだが、公園の活用にも力を入れていただきたい。
- 1市6町が合併して13年目。地域によって異なる行政区・町内会の制度は統一できないのか。
- 桜坂高校の応募状況が芳しくない。介護など専門性の高い学科があってもいいのではないのか。
- 子育て支援について、乳幼児期の施設は増えたが、学齢期以降の支援についてはどのように考えているのか何う。
- 放課後児童クラブの地域ごとの設置について。
- 民生委員をしている経験から災害弱者や高齢世帯の避難について地域格差も生じている状況から地域総ぐるみで取り組めるシステムを構築すべきではないか。
- 女川原発再稼働について。
- 平成19年頃、集中改革プランの中で、職員削減や給与の削減について、市長が説明したが、現在はどういうようになっているのか。
- 議会基本条例を策定していたと思うが、議会は市民の代弁者なので、行政側へもっと政策提案等を積極的に行ってほしい。

# 常任委員会行政視察レポート

各常任委員会が行なった行政視察についての概要を紹介します。

## 総務企画委員会

【実施日】

平成29年10月17日～19日

### 【視察地及び視察項目】

- 山口県周南市『公共施設再配置計画に向けた取り組みについて』
- 鹿児島県霧島市『移住・定住促進に向けた取り組みについて』

周南市では、道路や橋りょう、上下水道などのインフラ施設を含めると1000を超え、公共施設があり、このうち約60%が整備後30年以上を経過し、平成42年にはその割合は90%を超え、50年を経過する施設も50%を超える。このままでは近い将来、必要なサービスの提供が維持できなくなるとともに、施設の安全で安心な利用にも支障が出るのが危惧されている。

このことから、周南市ではこの公共施設の老朽化問題に一刻も早く対応していくため、平成27年8月に「周南市公共施設再配置計画」を策定し、市民等に分かりやすく解説するためにマンガを活用した周知を実施している。

本市においても、東日本大震災による公共施設の復旧・復興工事に並行して同様の課題を解決するために今後40年間を対象期間とした「石巻市公共施設等総合管理計画」を策定していることから、周南市の取り組みについては今後の事業推進に大いに参考となるものであった。

霧島市では「おじゃんせ霧島推進プロジェクト」と銘打ち、地域の魅力の発信に着目した移住定住促進モニターツアーを実施して地域情報の発信や体験の機会を提供し、移住定住促進に「地域のひととの交流」の視点を加えている。また、移住者に対する補助金についても、住宅取得補助金や家賃補助金、さらに中学生以下の者を扶養している場合の扶養加算などを考慮した取り組みを実施している。

これまでの移住者実績としては、平成18年7月から平成29年3月末で509世帯の1262人、内訳として、県内からの移住者が656人、県外からの移住者が60

6人である。

本市においても、移住に関する様々な情報提供、相談対応や移住イベントへの参加等のPRを行いながら、移住者への継続的なフォローも実施する「移住コンシェルジュ」を設置するとともに、市内に所在する空き家、空き店舗を活用して移住希望者等の移住及び定住を促進するために空き家等活用・移住促進事業に取り組んでいることから、霧島市の取り組みについてはさらなる本市の事業推進に大いに参考となるものであった。



周南市議会 委員会室で説明を受ける

## 環境教育委員会

【実施日】

平成29年10月17日～19日

### 【視察地及び視察項目】

- 愛知県豊橋市『プログラミング教育について』
- 岡山県倉敷市『倉敷市太陽光発電型プログラミング型排出削減事業（くらしきサンサン倶楽部）について』

豊橋市、市教育委員会では、2020（平成32）年から小学校でプログラミング教育が必修化されるのを控え、子どもだけでなく幅広い市民に体験してもらおう「とよはしプログラミング・チャレンジ2017」を実施。ライセンス費用等の必要経費についてはジャパン・トウエンティワン（株）が負担し、そのライセンスを小学生以上1000人に無償配布を行い、メンター（指導者）の育成や、小学校で行う講座の指導者を育てたり、海外チームとのコンテストの実施などを行っている。

特に、市民メンター育成には時間を要することからも、本市では石巻専修大学と協定を締結して学生にメンターになっていたりと同時に、市民メンターを育成しながら事業展開することが重要と考える。

また、財政状況を考慮したうえでライセンス無料版の使用についても検討を行っていただきた。

また、豊橋市では、平成17年11月に「英語教育推進特区」の認定を受け、平成18年度から中学校で英会話の授業を先行して実施し、1年をかけたワークショップや授業研究会などを通じて小学校教諭の研修を行い、平成19年度からは小学校でも英会話の授業を開始している。

本市においても、平成32年度から小学3・4年生で「外国語活動」、小学5・6年生で「英語」の教科化が必修化されることに伴い、聴することなく英語に触れ、コミュニケーションを図ることができる子どもたちの育成及び教員の指導力向上のため、豊橋市のような先進事例を積極的に取り

入れ、英語運用能力の向上に向けた取り組みをされるよう切に望むものである。

倉敷市太陽光発電型プログラミング型排出削減事業（くらしきサンサン倶楽部）の取り組みは、家庭から排出される温室効果ガスを削減するため、戸建住宅に太陽光発電設備を設置して得られるCO2削減量を取りまとめ、企業と取引して得られた収入を全額、市（環境保全基金）に寄附していただき、市民の環境保全に役立つ仕組みである。このような市民参加型の取り組みとしてCO2削減目標を共有し、官民一体となり事業に取り組む姿を数値化することは面白い企画ではないかと思う。

国の削減目標を行政と市民とが目標値を共有して事業を進め、しかも意欲的な目標に向かつての市民参加型の取り組みは、官民の一体感を醸成させて政策の活性化が図れるのではないかと思われる。



豊橋市議会での視察風景



# 常任委員会行政視察レポート

各常任委員会が行なった行政視察についての概要を紹介します。

## 保健福祉委員会

【実施日】  
平成29年10月17日～19日

### 【視察地及び視察項目】

●岐阜県大垣市『地域包括ケアの推進について』  
●大阪府箕面市『保育環境の整備・拡充について』

大垣市では、平成7年度にすでに24時間ホームヘルプ事業に全国で初めて取り組むなど、社会保障分野に対する積極性が見られるのは、長年にわたり地域に根づいた「地区社会福祉協議会」の存在が大きく、小学校区域を単位とした顔の見える関係づくりが住民の主体性を伸ばし、地域包括支援にうまく生かされていた。

また、外部委託が主流となっている包括支援センターは、公的責任を果たさなければいけないという使命感で基幹となるセンターを行政の直営としていた。それには、福祉のスペシャリストの存在が大変大きく、説明をいただいた職員は、厚生労働省に3年以上も出向していた経歴を持っていた。

本市においても、地域包括ケアシステムの確立は、喫緊の課題であり、縦割り行政を超えて、顔の見える関係づくりから多職種連携システムづくりを自治体のイニシアチブとトップの指導力により強力に実行していくことが、極めて大切であり、大垣市の取り組みは大いに参考となるものであった。

箕面市では、早くから幼・保元化に対応する検討が始められ、教育部局と福祉部局を統合し、教育委員会事務局内に子ども未来創造局を設置したことは、大変画期的で、組織改革による成果としては、局内の風通しが良くなり、多数の独自施策が効率良く展開され、小・中学校9年間を通して、きめ細やかにバランス良く子どもたちの総合力（学力、体力、豊かな心）が育まれていた。

また、通年待機児童ゼロ施策を乳児重点保育所（0～2歳）と子育て応援幼稚園（3～5歳）の二本柱とし、特に子育て応援幼稚園は、市内に多数点在する私立



大垣市の担当者から説明を受ける

幼稚園に保育機能を持たせ、新たに保育所を設置する費用を抑える一方、市が保育料の一部を保護者に補助し、公立保育所の保育料と同程度にしたことで、子育て世帯の転入増加につながっていた。

本市においても、若い世代の人口流出の抑制のため、子育て世代を対象とした環境づくりや施設整備を推進することは重要な施策であり、縦割り行政における組織改革は、容易ではないが、箕面市の取り組みは大いに参考となるものであった。

## 産業建設委員会

【実施日】  
平成29年10月17日～19日

### 【視察地及び視察項目】

●沖縄県宜野湾市『企業誘致と支援策などの取り組みについて』  
●沖縄県大宜味村『地域資源を活かした観光の推進について』

宜野湾市では、民間空き物件の情報提供や、税制優遇制度を活用し、企業誘致を行うっており、さらなる地域経済の活性化と雇用の創出、観光客の誘致と地元消費の促進を進めている。

また国際化、多様化する経済社会情勢に対応可能な人材育成を行うとともに、企業のニーズを把握し、マッチングの促進、仕事と家計を両立する多様な働き方が可能な人材育成の支援に取り組んでいる。

進出企業にとつて有利性の高い「沖縄振興特別措置法」を有効活用し、観光施設・スポーツ施設等を始め、多様な企業誘致に成功し、実績を上げていることは大いに学ぶ点が多かった。

本市においては、上釜・下釜、湊西地区で企業誘致のための基盤整備工事が進行中である。経済の活性化と若者の市内への定住を図る上でも、企業誘致は市政の最も大きな課題であり、宜野湾市の取り組みは本市の事業推進に大いに参考となるものであった。

大宜味村では、行政と地域が協働し、観光受入れ窓口業務や観光プログラムの企画・施行プログラムに取り組んでいる。

村の特徴である健康長寿と緑豊かな自然環境を活かし、環境保全型観光、伝統文化や芸能文化活動を組み込んだ、「大宜味型体験滞在・交流プログラム」を基本に、各分野の特色を活かしながら、心身共に大宜味村をまるごと体験・体感できる魅力あるプログラム・企画づくりを進めている。

本市には、観光資源が海のものから山のものまで様々ある。地域資源をピックアップして自然体験のプログラムを作り、例えばカキ小屋のようにカキを自分で焼いて



大宜味村での視察風景  
NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会

わうだけでなく、カキ漁師の船に乗せていただき、カキを収穫するところから体験できるようなプログラムを作ることができれば、話題性があるとアドバイスをいただいた。

観光資源の活用方法について、大宜味村の取り組みは本市の事業推進に大いに参考となるものであった。



# 平成29年度 石巻市議会中央要望

平成29年11月7日～8日、市議会では下記のとおり中央要望を行ってきました。

## ◆要望先

復興庁、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省

## ◆出席者

- ・[石巻市] 亀山 紘 市長
- ・[石巻市議会]
  - 丹野清議長、
  - 木村忠良総務企画委員長、櫻田誠子環境教育委員長、
  - 阿部正春保健福祉委員長、千田直人産業建設委員長、
  - 奥山浩幸総務企画副委員長、
  - 阿部利基環境教育副委員長、
  - 高橋憲悦保健福祉副委員長、
  - 遠藤宏昭産業建設副委員長



秋元司 国土交通副大臣兼復興副大臣への要望

## ◆要望項目

- 1 他自治体からの派遣職員の取扱いについて
- 2 震災復興特別交付税による固定資産税等の減免に係る財政支援の拡充及び延長について
- 3 東日本大震災に係る心のケア事業、被災者健康支援事業の財政支援について
- 4 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金の更なる延長について
- 5 地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現について
- 6 教員の加配の継続について
- 7 学校施設環境改善交付金（文部科学省所管補助金）の採択について
- 8 東日本大震災特別家賃低減事業の支援延長について



## 第2回臨時会に提出された 議案と審議結果

(平成29年11月10日開催)

### 予 算

(原案可決)

平成29年度

- ・石巻市一般会計補正予算(第4号)
- ・石巻市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

### そ の 他

#### (承認)

専決処分報告並びにその承認を求めることについて(平成29年度石巻市一般会計補正予算)

#### (原案可決)

- ・工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について(石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の締結に関する年度実施協定)
- ・工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について(平成27年度における石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の締結に関する年度実施協定)
- ・工事委託に関する年度協定の一部を変更する協定の締結について(平成28年度における石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の締結に関する年度実施協定)
- ・工事委託に関する年度協定の一部を変更する協定の締結について(平成29年度における石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の締結に関する年度実施協定)
- ・財産の取得について(石巻中央排水ポンプ場用地)

## 議会の動き

### 11月

- 2日 鳥取県鳥取市議会行政視察来石
- 6日 創生会行政視察(～9日)
- 7日 中央要望(～8日)  
兵庫県相生市議会行政視察来石
- 8日 愛媛県新居浜市議会行政視察来石
- 9日 静岡県磐田市議会行政視察来石
- 10日 議会運営委員会  
第2回臨時会
- 13日 総務企画委員会  
環境教育委員会  
保健福祉委員会  
産業建設委員会  
議会報告会班会議  
群馬県高山村議会行政視察来石
- 14日 公明会行政視察(～16日)  
群馬県議会行政視察来石  
全国市議会議長会特定第三種漁港協議会
- 15日 山口県議会行政視察来石
- 17日 宮城県市議会議長会事務局職員研修会
- 21日 市議会なんでも懇談会(議会報告会)
- 22日 群馬県太田市議会行政視察来石
- 27日 ニュー石巻行政視察(～29日)



### 12月

- 4日 議会運営委員会
- 7日 議場コンサート  
第4回定例会開会(提案理由説明)  
全員協議会  
各常任委員会
- 8日 本会議(条例案、予算案等審議)
- 12日 総務企画委員会  
環境教育委員会
- 13日 保健福祉委員会  
産業建設委員会
- 14日 議会運営委員会
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問)
- 20日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案  
審議、閉会)

### 1月

- 11日 愛媛県宇和島市議会行政視察来石
- 16日 石巻復興の会行政視察(～18日)
- 19日 愛知県半田市議会行政視察来石
- 22日 山形県河北町議会との議員交流会
- 23日 創生会行政視察(～24日)
- 24日 ニュー石巻行政視察(～25日)
- 29日 宮城県市議会議長会春季定期総会
- 31日 石巻市議会議員研修会

## 石巻市議会 『第22回議場コンサート』



市議会では、市民の皆様にも、議会活動への理解を深めていただくために、議場コンサートを開催しています。

22回目となった議場コンサートには、ロカビリー、ロックンロールバンド「レッドバレッツ」のKENNY(ケニー)さんに出演していただきました。

議場コンサートでは、初のロックでしたが熱い演奏と歌声に会場は大変盛り上がりしました。

- 曲目
- 1 アイ・フォウト・ザ・ロウ
  - 2 カモンエブリバディ
  - 3 天国の扉
  - 4 ジョニー・B・グッド

次回の議場コンサートは決まり次第、ホームページでお知らせします。



# 本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの

『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。



※平成30年第1回定例会のLIVE中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
2月14日(水)	午後1時～	本会議(開会、施政方針演説)
2月22日(木)	午前10時～	本会議(施政方針に対する質疑)
2月23日(金)	午前10時～	本会議(施政方針に対する質疑)
2月26日(月)	午前10時～	本会議(条例案等審議)
2月27日(火)	午前10時～	本会議(当初予算案審議)
2月28日(水)	午前10時～	本会議(追加議案審議)
3月2日(金)	午前10時～	総務企画委員会
3月5日(月)	午前10時～	環境教育委員会
3月6日(火)	午前10時～	保健福祉委員会
3月7日(水)	午前10時～	産業建設委員会
3月12日(月)	午前10時～	本会議(一般質問)
3月13日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
3月14日(水)	午前10時～	本会議(一般質問)
3月15日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
3月16日(金)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

## 編集後記

大寒が過ぎ、今年はこのまま雪があまり降らないでほしいと思っていたら、22日夕方より降り始め、ニュースでは大雪になるという情報です。明日の朝が大変だと思ながら編集後記を書いています。

今回の「議会だより」は、第4回定例会報告、各常任委員会審査報告、一般質問、常任委員会行政視察レポートです。間違いがないようにと点検をしながら編集していますが、いかがでしょうか。

行政視察は先進地に学び、市政に良いところを取り入れて、より良い石巻をつくるとの思いです。

まもなく、東日本大震災のあった3月が来ます。あの時の状況を忘れずに、前を向き一歩ずつ進み、希望の持てる石巻をつくりたいとの思いで、活動をして来ました。しかし、ハード面は進んで来ているものの、新たな課題も出てきて、まだまだ時間が必要と考えているところです。あせらず、一つずつですね。

寒い日が続きます。特に雪かきは体に注意してください。休みながらやらないと筋肉痛で大変なことになってしまいます。その上、風邪やインフルエンザとなったらもっと大事になります。くれぐれも体をいたわりながらお過ごしください。

広報広聴委員会 委員 千葉真良

## 表紙から



万石浦小学校3年生(児童57人)のスケート教室に伺いました。

スケート場は寒く、白い息を吐きながらでしたが、子供たちは上達も早く、スイスイ滑っている子もたくさんいました。

笑い声が絶えず、みんなとても楽しそうでした。

DATA 市総人口：146,162人【男：71,106人 / 女：75,056人 / 世帯数：61,259世帯(平成29年12月31日現在)】